

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4308 公民館管理事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	14011800 生涯学習の機会充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	010000 公民館管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公民館は、学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 特に2021年度以降、LED照明を順次導入し、経費削減と老朽化した照明器具の発火などの事故を防ぐ。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000	
	実績						
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ						
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による利用者減を考慮						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		24,693	18,572
特定財源	国庫支出金	7,132	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	900	0
	その他	1,455	1,311
一般財源		15,206	17,261
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.6	0.6
	臨時職員	1.0	1.0
人員コスト	正規職員	1,393.6	1,393.6
	嘱託職員	1,889.4	1,889.4
	臨時職員	1,678.0	1,678.0
	計	4,961.0	4,961.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.4
総額		29,654.0	23,533.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	8,095	消耗品費585、燃料費300、光熱水費4,973、修繕料2,237
12節 委託費	6,876	清掃業務119、電気保安業務委託263、無線通信環境整備委託6,323等
14節 工事請負費	1,374	照明器具修繕92、旭ヶ丘ふれあいプラザトイレ改修工事1,282
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,348	手数料959、機器賃借料2,883、備品購入費3,321、他

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	10,731	燃料費300、光熱水費6,411、修繕料3,700他
12節 委託費	864	清掃業務119、電気保安業務委託263、樹木伐採等委託料343等
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10	防火管理者講習会受講負担金10
その他	6,967	手数料970、機器賃借料2,965、備品購入費1,150、等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の学習や交流の場であり避難所としての機能を有し、市民に欠くことのできない施設である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設機能の充実、利便性、安全性を高め、施設の適切な維持管理に努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	受益者負担の観点から冷暖房施設利用料を徴収している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍により様々な制約は生じたが、Wi-Fi設備の導入など施設の適切な整備と維持管理により、利用者に安心・安全・快適な施設となるよう努めることができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

公共施設等総合管理計画個別計画に基づき、使用者の安全を第一に考えながら、快適な施設となるよう維持管理に努める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

公民館施設として、また、災害時の避難施設として、利用者の立場で施設環境の改善を図る必要がある

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--